



## □□□ 楽しく学べるプログラミング □□□



二十四節気が立秋か処暑へと変わりました。七十二候では8月28日から9月1日頃を天地始肅（てんちはじめてさむし）としています。厳しい残暑も和らぎ、朝夕は涼しさも感じられる頃となります。天気図には秋雨前線が登場し、冷たい空気とともに秋を運んでくれるはずです。とはいっても、日中はまだまだ暑く、夏の気候が続きますので、体調管理には十分注意したいものです。

〈ピンク色の花を咲かせているサルバゴリア〉 26日（水）は、ICT支援員さんの訪問日でした。本校では月2回の訪問があり、ICT機器を活用する際に担任のサポートをしていただいています。この日のパソコン室では4つの学年の授業がありましたが、参観した学年では「コードスタジオ」というツールでプログラミングの学習をしていました。この「コードスタジオ」はプログラミングの初心者用として作られたアメリカのサイトで、日本語にもちゃんと対応しています。サイト内で扱っている題材が「スターウォーズ」や「アナと雪の女王」といった子どもたちが好きそうなものばかり。しかもテーマに沿ってブロックを組み立てていくので、どの子も楽しくプログラミングを学ぶことができていました。

さて、新学習指導要領の実施に伴い、小学校では今年度からプログラミング教育がスタートしました。しかし、「プログラミング学習の時間」といった教科ができたわけではありません。5年算数「正多角形の作図」や6年理科「電気の性質や働き」、3～6年音楽「音楽づくり」、総合的な学習の時間などの授業で取り扱うことになっています。このプログラミング教育は、プログラム言語を覚えたり、プログラムの技能を習得したりすること自体をねらいとしているのではないということです。本校では、ねらいを踏まえつつ、学びを深める方法について工夫しながら対応していきたいと考えています。

### ＜プログラミング教育のねらい＞

- ①「プログラミング的思考」を育むこと
  - ②プログラムの働きやよさ、情報社会がコンピュータ等の情報技術によって支えられていることなどに気付くことができるようにするとともに、コンピュータ等を上手に活用して身近な問題を解決したり、よりよい社会を築いたりしようとする態度を育むこと
  - ③各教科等の内容を指導する中で実施する場合には、各教科等での学びをより確実なものとする
- 小学校プログラミング教育の手引き（第三版）より

